

災害時に 建築士ができること

～被災者の生活再建を後押しする建築救援～

2025

3月8日(土)

13:30～15:30

群馬県庁 昭和庁舎
21 会議室
(前橋市大手町 1-1-1)

◁被災地の現場から▷

災害が少ない群馬ですが、防災が課題となっています。全国で地震だけでなく水害も多いなか、建築士は何ができるのか？

被災地の現状、被災家屋の状況、そして応急危険度判定だけでなく、建築士の役割などをご講演いただきます。

講師 風組関東 代表

小林 直樹 氏



プロフィール

災害支援団体 風組関東 代表

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD) 技術系専門委員

震災がつなぐ全国ネットワーク 技術系幹事

日本各地の災害被災地において、様々な担い手と連携しながら被災建物の保全応急処置などを通じて被災者の生活再建を後押しする。

平時は各種技術系講座、災害ボランティア講座、建物保全の調査研究など。

参加費：無料

定員：30名(群馬建築士会会員) ●先着

駐車場：群馬県庁県民駐車場がご利用できます。

*2時間まで無料、以後30分ごと100円

申込：2月24日迄に右のQRコードよりお申込み下さい。

お問い合わせ：右のQRコードよりフォームにご記入下さい。

主催：(一社)群馬建築士会女性委員会



▲参加・お問い合わせはこちらから